

外国語活動・英語科単元系統表(6年)

6年				中学1年			中学2・3年			連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
単元名	表現	語彙	単元目標	課名と内容	主な言語材料	主な目標	課名と内容	主な言語材料	主な目標	
Lesson 1 (4) Do you have “a”?	Do you have “a”? Yes, I do. /No, I don't.	アルファベットa～z, do, you, I, have, yes, no, don't, one ～ thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, hundred,	●積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 ●31～100の数の言い方やアルファベットの小文字、あるかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ●世界には様々な文字があることを知る。	1 好きなものは？ I Like Soccer. タクとナナとホール先生が、好きなもの(スポーツ, 食べもの)について話し合う WT 数字 0～100までの数字	I like soccer Do you like soccer? Yes.I do. No,I don't. I do not like soccer.	●相手の好きなものについて尋ねたり, 適切に応答することができる。 ●強勢や疑問文と平叙文の語尾の上げ下げに関する知識を身につける。 ●0～100までの数字を習得し, 適切に運用することができる。				○会話をする上で一番基本的で、身に付きやすい質問文であるので、様々な場面で何度も使用する機会をつくる。 ○文字指導に関しては、書き方や綴りを覚えさせるのではなく、文字を見慣れさせる手立てや工夫をする。 ○数を使う場面は日常生活において多いので、数字の聞き取りや発音に慣れさせる。 ●動詞や場面設定を増やし、少し高度なコミュニケーション活動につなげる。
Lesson 2 (4) When is your birthday?	When is your birthday? My birthday is March eighteenth.	when, is, your, birthday, my, January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 序数(自分の誕生日)	●積極的に誕生日を尋ねたり, 誕生日を答えたりしようとする。 ●英語での月の言い方や, 誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●世界と日本の祭りや行事に興味をもち, 時期や季節の違いに気付く。	WT 季節と月／月日の言い方 7 日本のお正月 New Year お正月にナナの家遊びに来たマヤとジャックが、書き初めに挑戦する	When (do you eat～?)	●日付の言い方や書き方, 月名や序数を理解する。 ●can, can’tを用いて, できることとできないことを相手に正しく伝えることができる。 ●canや疑問詞whenを用いて相手に尋ねたり, 適切に応答することができる。 ●日本の伝統文化である書き初めや日本とアメリカの正月の食文化について理解する。				○月、日、曜日を扱うときは一度に多くの語彙が必要になるので、時間をかけ何度も繰り返して練習させる。まず自分の誕生月や行事等で関連性のある語から親しませる。 ○My name is ～ だけでなく、I’m ～と言ってもいいことに触れておく。 ●会話の中にスムーズに取り入れていけるようにスペルとともに定着させる。
Lesson 3 (4) I can swim.	I can/can’t swim. Can you cook? Yes, I can./No, I can’t.	can, can’t(can not), play, swim, cook, ride, unicycle, table tennis, badminton, basketball, soccer, baseball, recorder, piano, a, the	●積極的に友達に「できること」を尋ねたり, 自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。 ●「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。 ●言語や人、それぞれに違いがあることを知る。	7 日本のお正月 New Year お正月にナナの家遊びに来たマヤとジャックが、書き初めに挑戦する	Can you read this word?	●can, can’tを用いて, できることとできないことを相手に正しく伝えることができる。 ●canや疑問詞whenを用いて相手に尋ねたり, 適切に応答することができる。 ●日本の伝統文化である書き初めや日本とアメリカの正月の食文化について理解する。				○「できる」「できない」は自己紹介でも使える大切な表現である。小学校では簡単な問答形式で慣れ親しませる。 ○児童が自信をもって自分ができることを紹介したり、互いに温かく認め合ったりする活動を工夫する。 ●小学校で学習する内容や活動を把握し、お正月の伝統文化にふれる場面などの様々な場面で表現できるように発展させる。

外国語活動・英語科単元系統表(6年)

6年				中学1年			中学2・3年			連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
単元名	表現	語彙	単元目標	課名と内容	主な言語材料	主な目標	課名と内容	主な言語材料	主な目標	
Lesson 4 (4) Turn right.	Where is the station? Go straight. Turn right/left.	turn, right, left, go, straight, stop, to, where, park, school, flower, shop, hospital, book, store, restaurant, supermarket, fire, station, police, convenience, department, post, office, station,	●積極的に道を尋ねたり, 道案内したりしようとする。 ●目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ●英語と日本語とでは, 建物の表し方が違うことに気付く。	6 アメリカの中学校 Junior High School	Where's your aunt's room?	●複数主語を用いて, 相手にわかるように説明することができる。	TT 道案内(2年) 道案内の表現を知る	Talkingng Time	●go alongやturn leftなど, 道案内の場面特有の表現を用いて道案内をすることができる。	○「どこ?」「右、左」など簡単な道案内の表現に慣れ、建物の表し方が日本語と違うことを知らせる。 ○相手のことを考えながら、道案内のやりとりをすることの大切さに気付かせる。 ●基本的な表現(turn right, turn left他)に加え特有な表現(across, pass)を用い、より詳しく道案内ができるようにする。
				in America ナナとタクとマヤとジャックが, ウェブサイトを通してアメリカの中学校生活を知る		●疑問詞whereやS+V+O(代名詞)を用いて, 相手に尋ねたり, 適切に応答することができる。				
Lesson 5 (4) Let's go to Italy.	I want to go to France. Where do you want to go? Let's go.	I, you, do, like, want, to, go, where, play, see, eat Italy, Japan, China, Korea, Brazil, Egypt, Australia, France, India, America, Spain	●自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。 ●行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ●世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。	6 アメリカの中学校 Junior High School	Where do you keep your textbooks?	●疑問詞 where や S+V+O (代名詞)を用いて, 相手に尋ねたり, 適切に応答することができる。	5 Career Experience 職業体験(2年) ロボット製作会社へ職業体験に行ったナナが, ロボット工学と職業に対する意識を深める	I want to see.	●to不定詞を用いて, 適切に表現したり, 相手に尋ねたり, 適切に応答することができる。	○いろいろな国について調べたり話し合ったりしながら、お互いの思いを知ることによって楽しい雰囲気をつくる。 ○チャンツなどを通して、“I want to go to ~.”の表現に慣れ親しむ。 ●不定詞の導入には欠かせない表現であり、中学校では更に動詞や語彙を増やし、様々なコミュニケーション活動に発展させる。
				in America ナナとタクとマヤとジャックが, ウェブサイトを通してアメリカの中学校生活を知る		●道案内の場面で使われている特有の表現を用いて会話をすることができる。				
Lesson 6 (5) What time do you get up?	I get up at seven. What time do you go to bed?	I, you, do, get, up, eat, lunch, breakfast, dinner, take, a, bath, go, to , bed, home, watch, clean, TV, play, piano, study, what, time	●積極的に自分の一日を紹介したり, 友達の一日を聞き取ったりしようとする。 ●生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ●世界の様子に興味をもち、世界には時差があることに気付く。	A 何時ですか? 時刻を尋ねる／できる世界の時差を知る	What time is it? do my homework, clean my room, go to the library, watch TV, go shopping, play ~	●What time ~?を用いて会話をすることができる。				○時刻の表現に加えて、生活での動作を表す表現はかなり高度であるので、活動は抵抗を減らせるために表現はいくつかにしぼる。 ○1日の流れやそれぞれの動作について聞き慣れさせる。 ●小学校で活動したことを思い出し、日記が書ける程度に表現力を身に付けさせる。
				WT 1週間 曜日／1週間にすること		●時刻に関する表現を理解する。 ●時差に関する知識を得る。 ●各曜日にすることを聞き取ったり、英語で表現することができる。				

外国語活動・英語科単元系統表(6年)

6年				中学1年			中学2・3年			連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
単元名	表現	語彙	単元目標	課名と内容	主な言語材料	主な目標	課名と内容	主な言語材料	主な目標	
Lesson 7 (6) We are good friends.	We are good friends. We are strong and brave.	peach, boy, monkey, dog, bird, friend(s), strong, brave, good, fine, happy, hello, let's (let, us), go, we, are, I, am, how, you, please, here, see, OK	●積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。 ●まとまった英語の話を聞いて、内容がわかり、場面にあったセリフを言う。 ●世界の物語に興味をもつ。	3 初めまして Hello, Everyone. タクとナナが、転校してきたジャックに好きなことなどを尋ねる Word Tree 私の気持ち	I am.... Are you...? I am not.... happy sad anger	●I am ～. You are ～. を用いて、自分や相手のことを表現することができる。 ●Are you ～? を用いて、相手に尋ねたり、適切に応答することができる。 ●be動詞 (am, are) の文構造や、一般動詞とbe動詞の違いを理解する。				○聞いている人が理解できるようにこれまでに慣れ親しんだ語彙や表現で工夫させる。 ○聞く活動を工夫することにより、オリジナルの話の大体をつかむようにさせる。 ●代名詞を理解し、be動詞を使って、より詳しく自分や友達のことなどを紹介あるいは説明させる。
Lesson 8 (4) What do you want to be?	I want to be a singer. What do you want to be?	I, you, what, do, want, to, be, a(an), teacher, doctor, pastry chef, farmer, florist, singer, firefighter, soccer player, bus driver, cabin attendant, vet, zookeeper, comedian, baker, dentist, artist	●積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。 ●どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●世界には様々な夢をもった同年代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言語の面白さに気付く。				C3P 将来の夢(2年) 自分の将来の夢を考え、文章にまとめて発表する		●自分の将来の夢と、志望理由を書くことができる。 ●将来の夢や志望理由に具体的な体験を肉付けしながら、5～7文程度の文章にまとめることができる。 ●クラスの前で口頭発表をすることができる。	○“What do you want to be～?” “I want to be～.”の表現に慣れ親しませる。 ○いろいろな職業を表す語彙とともに、興味をもって自然に発言できる雰囲気づくりに努める。 ○Nice dream . Good dream. Good luck. Thank you. などの言葉を掛け合うことで気持ちのよいコミュニケーションを感じ取らせる。 ●不定詞の理解には欠かせない表現であり、中学校では更に動詞や語彙を増やし、文章にまとめ発表し合うという書く活動に発展させる。